

69

うち かみ おも 内なるは上を思^{おも}うていずみいる 怖^{こわ}み無^ないぞや神^{かみ}の請^うけ合^やい

但在裡面的你們卻因為考量到上位者，內心消
沉下來。沒什麼好怕的啊，有神作保證。

70

いままで みち かわ 今迄と道が変^{かわ}りてある程^{ほど}に はや せ こ おうかん みち 早く急^せき込み往還^この道^{みち}

這條路與過去將有所不同。快為康莊大道加快
腳步呀！

71

このみち いつ こと おも はや で いま こと
此道は何時の事やと思っている 早く出てみよもう今の事

你們想，這條康莊大道要到什麼時候才會出現呢？快走出來啊！就是現在了！

72

だんだん ふで し ほど はや こころ さと と よう
段々と筆に知らしてある程に 早く心に悟り取る様

這些事情會一點一點用筆寫下好讓你們知道，快從心裡去了悟這些道理吧。

73

これ 此さいか ^{はや}早く ^{さと}悟りが付いたなら ^み身の内惱み ^{うちなや}涼やかに ^{すず} ^な成る

如果能夠早點領悟這些道理的話，身上的煩惱也會跟著消失。

74

つと 勤めでも ^{はじ}初め ^{ておど}手踊り ^{かぐら}また神樂 ^{ちよつと}一寸の ^{ほそみち}細道 ^つ付けてあれども

聖舞最先是手舞，然後是神樂，雖然是從很細小的路開始的，

75

だんだん くさ みち し はや ほんみち つ もよう
段々と草がしこりて道知れず 早く本道付ける模様を

但久而久之雜草叢生，不知路的去向。快！爲
開闢大道來作準備。

76

にちにち こころいさ せ こ はや ほんみち つ こと
日々に心勇んで急ぎ込めよ 早く本道付けた事なら

每天都抱著踴躍的心，加快腳步吧！如果能夠
早日將大道開闢出來的話…

77

しんじつ このほんみち つ すえ たの ようき や
眞実に此本道が付いたなら 末は頼もし陽氣づくめ哉

這條大道若能確實開闢出來的話，將來就全是
讓人安心的康樂生活。

78

むらかた なお たす せ はや しやん よう
村方は尚も救けを急えている 早く思案をしてくれる様

對於村民，神也急著想去拯救，請盡早、好好地
去思考這個道理吧。

79

せかいじゅう かみ
世界中神のたあには ^{みな わ}皆我が子 ^こ 一列は ^{いちれつ} 皆親 ^{みなおや} と思えよ ^{おも}

對神來說世上的人們都是我的子女，所有人都
應把神看作是父母。

80

せかいじゅう せつきょう
世界中説教として ^{はじ} 始め ^か 掛け ^と 説いて ^き 聞かする ^き 聞き ^い に行く ^{なり} 也

開始時是在世界上講述道理給人們聽，想聽的
話就去聽吧。

81

如何^{いか}程^{ほど}に見^みえたる事^{こと}を言^ゆうたとて 元^{もと}を知^しらねば分^{わか}る芽^めは無^なし

看得見的事情不管說了多少，但不知元始之事
的話便無法了悟。

82

段々^{だんだん}と無^ない事^{こと}ばかり言^ゆて置^おいて 其^{それ}出^でたならば此^{これ}が真^{まこと}哉^や

接下來只會說沒人知道的事情，當出現的時候
你們就會知道是真的。

83

いちれつ かみ もた この こども はや おもて で もよう
一列に神に凭れる此子供 早く表い出る模様せよ

子女們呀，所有的人都來倚靠神，早點爲出到外面去作好準備呀。

84

しんじつ おもて で おも こころしず しん たず
真実に表出ようと思うなら 心静めて芯を尋ねよ

若真的想到外面去的話，就將心沉靜下來，去探尋那最根源的部分。

85

この こども しんじつ むね うち みさだ つ いか もよう
此子供真実よりも胸の内 見定め付けば如何な模様も

子女們的真心若是爲神所確認的話，任何祐護
都會賜予。

86

にちにち かみ こころ せ こ こども こころわか な
日々に神の心は急き込めど 子供の心分り無いので

神的內心每天都焦急萬分，但是子女心中卻都
還不明白。

87

こども ちよつと ひと な おお むね さら わか
子供でも一寸の人では無いからに 多くの胸が更に分らん

子女的人數不是只有一點點而已，還有這麼多人不明白神意。

88

いままで がくもん など ゆ み な ことさら し
今迄は學問等と言うたとして 見えて無い事更に知ろまい

至今人們都談論著學問之類的事情，但還沒見到的事卻誰也不知道。

89

此^{この}先^{さき}は^み見^なえ^{こと}て^{だん}無^{だん}い^と事^{よろ}段^ず々^こと^と 万^おの^お事^おを^お皆^お説^おいて^お置^おく

今後，還沒見到的一切事情都會一點一點說出來。

90

此^{これ}からは^{この}此^よ世^は創^じめて^な無^つい^と勤^だめ^ん 段^だ々^ん教^おえ^し手^てを^つ付^なける^り也

現在起，創世以來從未有過的聖舞，其手勢要一點一點教授給你們。

91

このつと　せかいじゅう　たす　みち　おし　もの　ゆ　ことなり
此勤め世界中の救け道　啞でも物を言わす事也

聖舞是拯救世界之道，讓啞巴也能夠開口說話。

92

にちにち　つと　にんじゅうしか　こころしず　はや　て　つ
日々に勤めの人衆確とせよ　心静めて早く手を付け

奉行聖舞人員，每天都打起精神來！把心靜下，
早點著手進行吧！

93

此^{この}勤^{つと}め何^{なに}の事^{こと}やと思^{おも}ている 世界^{せかい}治^{おさ}めて救^{たす}けばかりを

這聖舞究竟是什麼呢？是讓世界和平，全心去
救人呀。

94

此^{この}道^{みち}が確^{たし}か見^みえたる事^{こと}ならば 病^{やまい}の根^{ねえ}は切^きれてしまいうで

當這條路清楚地浮現出來時，疾病的根源就能
夠完全切除。

95

しんじつ　　こころ　しだい　　いずかた　　いか　　しゅごう　　ゆ
眞実の心次第に何方も　如何な守護もせんと言わんで

不管是誰，只要擁有顆真誠的心，神一定會賜
予與心相符的祐護。

96

いま　　みちかみ　　せ　　こ　　うち　　あん　　な　　しか　　み
今の道神の急き込み内なるは　案じ無いぞや確と見ていよ

對於現今這條路，神非常著急。在裡面的你們
不必擔心，仔細去瞧一瞧吧。

97

これまで みち かわ ゆ
此迄と道が変わると言うてある 神は ちご こと ゆ
神は違うた事は言わんで

已經說過了，今後這條路將和目前為止有所不同。神說的事不會有錯。

98

このさき かみ ところ せ こ くち ゆ ゆ
此先は神の心の急き込みを 口ではどうも言うに言われん

神的內心對於將來的事非常著急，已經到了無法言喻的地步了。

99

如何程に難し事と言うたとして 說かずにいては分る芽は無し

不論多麼困難的事，如果不說的話就更不會明白。

100

日にちに神の思惑段々と 說いて置くぞや此聞いてくれ

神每天思慮的事會慢慢地說出來，請你們聽一聽。

101

このみち なに むずか めずら みち たし み
此道は何か難し珍しい 道であるぞや確か見ていよ

這是條多麼地艱苦、卻又珍奇的路呀，請仔細
去瞧瞧。

102

このみち とお ぬ そのさき から にほん ぢい
此道を通り抜けたら其先は 唐は日本の地にしてある

穿越這條路之後，在它的前方，迷域將會成爲
悟區。

103

唐からの地を日本にほんの地ぢいにしたならば 此末代これまつだいの生き通りい也どおなり

如果能夠將迷域變成悟區，這條路就能世世代代一直走下去。

104

此世このようを治おさめるも上天かみてんも神かみ 上かみと神かみとの心こころ分わけるで

平定此世的是上位者，而天是由神。神會將上位者與神的心區分清楚。

105

だんだん ^み見えん ^{こと}事を ^ゆば ^お言て置いて ^{さき}先で ^み見えたら ^{これ}此が ^{かみ}神やで

還沒看見的事情會一點一點說出來，屆時看見的時候，就知道這是神啊。

106

^{いか}如何 ^{ほど}程に ^み見えたる ^{こと}事を ^ゆ言うたとして ^{さき}先で ^み見えねば ^{わか}分りあるまい

無論怎麼述說眼前的事，若是不能預見未來的話，依然不能算是明白。

107

これ せかいじゅう むね うち かみしもとも わ み
此からは世界中の胸の内 上下共に分けて見せるで

現在起，不論是在上位者或是在下位者，神要將世人的心都區分出來給你們看。

108

これ み せかい うち へだ な むね うち そうじ や
此を見よ世界も内も隔て無い 胸の内より掃除するぞ哉

看著吧！不管是世人還是裡面的人都沒有差別，神要去清掃所有人的內心。

109

この そうじ むづか こと
此掃除難し事であるけれど やまい ゆ な ゆ お
病と言うは無いと言て置く

清掃内心雖然很困難，但神說，生病這種事並不存在。

110

ど よう いた なや でけもの や ねつ くだ みなほこり
何の様な痛み悩みも出来物哉 熱も下りも皆埃やで

什麼樣的疼痛、煩惱、身上長出東西，或是身體發熱、拉肚子也好，這些都是因為灰塵呀！

111

此世このようを創はじめてからに何なにも彼かも 上かみへ教おしえた事ことは有あるまい

創造世界以來的一切事情，從來沒有教導給上位者過。

112

此度このたびは何か万なにを上よろずたるへ 知しらして置おいた事ことであるなら

這一次不管任何的事情，都要讓上位者知道。

113

それ なか しやん あ みな よ よ はなし
其からは中には思案するも有ろ 皆寄り合うて話したなら

這些人當中有的人已經在思索了吧，如果大家
能聚在一起好好商量的話，

114

そのなか しんじつこころたの おも しやん もの あ
其中に真実心頼もしい 思て思案をする者も有る

其中有些人去思索，認為這教導確實值得信賴。

115

このみち かみ とお こと かみ じゅうようすぐ あらわ
此道を上へ通りた事ならば 神の自由直に現す

這條路如果能通達到上位者之處，自由的神
便會馬上顯現出來。

116

このよう はじ かみ じゅうよう み ことさら な
此世を創めた神の自由を 見せたる事は更に無いので

創世之神の自由神祐，至今都還沒有給人看過。

117

なに し あいだ そのまま や かみ じゅうよう し
何にても知らん間は其儘哉 神の自由知らしたるなら

什麼都還不知道時便一如往常，然而一旦知道
神能是如此地自由…

118

これ き みないちれつ しゃん なに よろず こころ しだい や
此聞いて皆一列は思案せよ 何か万は心次第哉

聽聞了之後，所有的人都好好想一想吧，任何
事都是依從於內心。

119

きょう ひ なに み な ろくがつ み みな でか
今日の日は何が見えるや無いけれど 六月を見よ皆出掛けるで

今天雖然什麼都還沒看見，但看著吧！到六月
的時候，所有事情都會顯現出來。

120

いままで たか やま ゆ たにそこ
今迄は高い山やと言っている 谷底にてはしけんばかりを

到目前說了有關「高山」的事情，「谷底」的
情況卻是非常消沉、無力氣。

121

これ たかやま たにそこ もとはじ ゆ き
此からは高山にても谷底も 元初まりを言うて聞かする

現在起，不論是「高山」也好「谷底」也好，
創世的元始之事要說給你們聽。

122

この よ はじ だ どろ うみ そのなか どじょう や
此世の創まり出しは泥の海 其中よりも泥鰻ばかり哉

這世界剛開始的時候是一片泥海，在泥海之中
全都是泥鰻呀。

123

このどじょうなに ^{こと} 何の事 ^{おも} やと思 ^{これにんげん} ている 此人間 ^{たね} の種 ^や であるぞ哉

這些泥鰍是什麼東西呢？是人類的種子呀。

124

このもの ^{かみ} 此者 ^ひ を神 ^あ が引 ^く き上 ^{だんだん} げ ^{しゅごう} 食 ^{にんげん} て ^な しもて 段々守護人間と成し

神撈起牠們並將其吃下，逐漸賜予祐護使其成
爲人類。

125

それ ^{かみ}神の^{しゅごう}守護^ゆと言うものは ^{なみ}並大^{たい}抵^いな^{こと}事^なで^や無いぞ哉

從那時候起，神祐便不只是尋常的事而已。

126

このはなし ^{ちよつと}一寸^{こと}の事^{おも}やと思^{おも}うなよ ^{せかい}世界^{いちれつたす}一^{れつたす}列^{たい}救^{たい}け^{から}りたいから

千萬別小看這段故事哦！爲的是要拯救全人類。

127

にちにち かみ こころ しんじつ ふか おもわく あ おも
日々に神の心の眞實は 深い思惑有ると思えよ

要知道，神眞實的內心裡，每天都包含著深厚的思慮。

128

いままで にほん から したご まま かみ ざんねん
今迄は日本が唐に従うて 儘にしられた神の残念

到現在為止都是悟者依從著迷徒。一直持續到現在，神感到很遺憾。

129

このかや かみ はたら これ み いか もの まね でけ
此返し神の働き此を見よ 如何な者でも真似は出来まい

看著吧，爲回應此事，神將會施展神能，不論任何人都沒辦法模仿。

130

いか ほど ごうてき ゆ かみ しりぞ これかな
如何程の剛的たると言うたとして 神が退く此敵いまい

當神要撤去祐護的時候，不論是再怎麼強壯的人也沒辦法抵擋。

なに みない ちれ つ この どうり かみ じゅうよう おも
何にても皆一列は此道理 神が自由すると思えよ

132
 しゃん わか としより よわ こころ しだい いか じゅうよう
 思案せよ若い年寄弱きでも 心次第に如何な自由

想想吧！不管是年幼者也好，老年人也好，還是身體虛弱者，會得到怎樣自由的神祐都依從於心念。

133

いままで おな く 今迄も同じ暮らしていたるとも かみ じゅうよう し 神の自由知りた者無し もの な

雖然至今人們同樣是在生活，自由自在的神能
卻沒有人知道。

134

これ よろず こと みな と 此からは万の事を皆説くで こころちが な よう 心違いの無い様にせよ

今後任何事情都會說出來，心可不要走到錯誤
的地方去了。